

斐伊川・神戸川治水事業の推進について

【 国土交通省 】

提案・要望の内容

本県百年の大計である斐伊川・神戸川治水事業を推進すること。

- 大橋川改修及び宍道湖・中海湖岸堤防の整備の促進
- ダム建設の促進
 - ・ 志津見ダム
 - ・ 尾原ダム
- 斐伊川放水路建設の促進

【 現状と課題 】

各事業の進捗状況

- ・ 志津見ダム・・・進捗率67%、平成16年3月ダム本体工事着手
- ・ 尾原ダム・・・進捗率45%、平成17年度ダム本体工事着手予定
- ・ 斐伊川放水路・・・拡幅部分の築堤 約8割、開削部分の開削 約5割
- ・ 大橋川改修・・・平成16年12月「大橋川改修の具体的内容」を公表
平成17年6月測量調査実施予定

松江市は水害に無防備な状況であり、下流部の大橋川改修について、早期に事業に着手する必要がある。

昨年7月の新潟豪雨が斐伊川流域で発生したら、昭和47年7月の斐伊川洪水並の宍道湖水位（H.P.+2.5m）が再現されると推定されている。

【 本県の取組状況・方針 】

地域に即した周辺対策事業の実施

ダム、放水路は事業進捗に併せ、県として関係市町への交付金交付など周辺整備に努めている。

積極的な情報提供、合意形成への関与

大橋川改修は、松江市街地中心部に大きな影響があるため、国、県、市の連携のもとに昨年12月に改修計画の骨格を公表し、地元説明会等（56回）を開催するなど、積極的な情報提供を行い関係者の理解と合意形成に努めている。

【 提案要望の効果 】

県都松江市を含む県東部地域の水害を防止し、県民の生命・財産を守り安全かつ安心な暮らしのできる県土を築くことができる。

大橋川改修により松江市中心市街地が、治水と環境とまちづくりが調和した市街地が形成され、水害に強い都市化が図られる。

斐伊川・神戸川治水事業

流域全体の治水対策（3点セット）

斐伊川治水3点セット

- 下流部の大橋川改修と中海・宍道湖湖岸の整備
- 中流の斐伊川放水路の建設と斐伊川本線の改修
- 斐伊川と神戸川の上流にダムを建設



- ・上流部の2つのダム、中流部の放水路は、順調に進捗中



平成20年代前半の一体的完成が必要

- ・下流部の大橋川改修の早期着工

《 大橋川の現況と計画 》

